

## 大門高等学校 第3学年 国語科単元指導計画

### 1 単元名

国語総合（数研出版） 『旅する本』 角田光代

### 2 単元の目標

- ・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。（C読むこと 指導事項ア）
- ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。（C読むこと 指導事項ウ）
- ・話題について様々な角度から検討して自分の考えを持ち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。（A話すこと 指導事項ア）
- ・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方を工夫して話し合うこと。（A話すこと 指導事項ウ）

### 3 単元の計画（全6時間）

時	主な学習活動
1	小説の読解法 10 項目のうち、「きっかけとなる事実から心情に着目」「人物の特徴をおさえる」「隠喩を探す」「二つ以上の物を比べて共通点を探す」の4項目を使って、各自が読解し、「分かるかな帳」（リフレクションシート）に各自で記入させた「予習して何が疑問だったか」のうち「みんなで考えたい疑問」について多かった意見を提示する。
2	「事実からの心情着目」3グループ、「人物の特徴」3グループ、「隠喩」2グループ、「共通点」2グループの各4人10グループに分け、それぞれの指定された読解法のワークシートを使い各自が、読み取り結果とその根拠、発見したことをまとめる。
3	【エキスパート活動と発表】各グループで、各自の記入したワークシートをもとにグループ活動を行い、プレゼン用のシートに討議した意見をまとめ、グループリーダーがクラス全員に向けてICTを利用して発表、質疑応答を行う。
4	【エキスパート活動と発表】各グループで、各自の記入したワークシートをもとにグループ活動を行い、プレゼン用のシートに討議した意見をまとめ、グループリーダーがクラス全員に向けてICTを利用して発表、質疑応答を行う。全グループの発表後、各自で「みんなで考えたい疑問」ワークシートに、解答を記入する。
5	【ジグソー活動】4人グループを解体し、シャッフルして新たに6人組6グループを形成し、各自で記入したワークシートもとにそれぞれの異なる読解法による見解を討議し、「みんなで考えたい疑問」プレゼン用シートにまとめる。
6	【ジグソー活動と発表】6人組のうち2人ペアで発表、残り4人は他のグループへ移動して聞き質疑、この活動を3回繰り返して全員が発表し、他のグループの発表を聞くジグソー活動を行い、その後各グループのプレゼンシートでICTを利用し、共有しながら、各自で書いた「みんなで考えたい疑問」ワークシートに追加訂正をして疑問を解決する。 → 本時

### 4 本時の目標

「みんなで考えたい疑問」（課題）

- 課題1 なぜ古本屋の主人は、「その本」を「売っていいのか」と何度も私に尋ねたのだろう。その理由をその心情も含めて考えよう。
- 課題2 なぜ私は同じ「その本」と何度も出会えたのだろう。私と「その本」の両方の観点から考えよう。
- 課題3 『旅する本』という隠喩はどんなことを意味しているのだろう。
- 課題4 大学の卒業旅行先のポカラで読んだとき、「いきなりミステリーの様相をおびはじめた」のはなぜだろう。

について、それぞれのエキスパート活動で出した見解を反映させながら、自分なりの解答を考え、まとめ、主題を洞察することができる。

5 学習の流れ（6時間目／全6時間）

学習活動 (○発問, ●予想される生徒の反応)	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>①目標を理解し, 課題意識を持つ ・人に分かりやすく説明するために, よくプレゼンシートを読む。 ・他のグループに質問できるように, 自己の意見を確認する。(5分)</p> <p>②自分の発表に対する質問に適切に答え, さらに他のグループの発表の内容をメモをとりながら, 聞く。(12分)</p> <p>③聞くことのできなかったグループの意見を, ICTで共有したプレゼンシートを見ながら, 考えを深め, 自分のワークシートに追加訂正しながら修正する。(20分)</p> <p>④4つの課題から主題を洞察する。(10分)</p> <p>⑤ワークシートと「わかるかな帳」で振り返りをする。(3分)</p>	<p>・全員が2人ペアで3分のプレゼンを1回行い, 他のグループを2回巡って聞くことを説明する。</p> <p>・最後には4つの疑問を主題につなげることを予告し, そのことを意識して発表を聞くようにさせる。</p> <p>・聴衆が偏らないように, バランス良く聞きに行くよう各グループに生徒を移動させる。</p> <p>・一つは質問するように机間指導をしながら, アドバイスする。</p> <p>・1～4の「疑問」(課題)について, 6グループの共通点や相違点を指摘する。</p> <p>・課題1「なぜ何度も古本屋の主人が売っているのかと尋ねたのか」と課題2「なぜその本と出会えたか」が関連することに気付かせる。</p> <p>・課題3「旅する本という隠喩の意味」と課題4「ポカラで読んだときミステリーの様相をおびた理由」が関連することを気付かせ, 古本の持つ「本を通過していった無数の人の息づかい」(P140, L10)につなげて, 「旅」とはどこを旅しているのかについての考えを深めさせる。</p> <p>・ドイツの古本屋で買ってきた, 書き込みのある実物の本『大どろぼうホッツェンプロッツ』を回覧させ, 実際の「息づかい」を体験させる。</p> <p>・P148, L1の「売ってはいけない大切な本」について「主人公「私」にとってこの本はどんな価値があるのか」を考えさせる。</p>	<p>〔話すこと〕 自己の意見をまとめ確認している。 (行動観察)</p> <p>〔話すこと聞くこと〕課題について自分なりの説明と質疑応答をしている。提出するプレゼンシートによる評価 (行動観察)</p> <p>〔読むこと〕 メモを取りながら考えを深めている。 (行動観察)</p> <p>〔読むこと〕 提出するワークシート・「わかるかな帳」(リフレクションシート)による評価 (各々のシート)</p>